

グループ一休で展示会

キッツ 東京会場に3000人超来場

キッツグループは10日、バルブを中心としたグループ各社の製品・サービスを横断的に紹介する「キッツコンベンション2024」を東京国際フォーラムで開いた。独自の展不会は35年ぶりの開催。代理店・販売店・コンストラクターを中心に国内外から関心を集め、来場者数が3000人を超える大盛況となった。17日には大阪会場として梅田サウスホール（大阪市）で同様のコンベンションを開催した。展示エリアは企業別ではなく、建築設備・機械装置、水処理、半導体、



入場制限がかかるほどの盛況

われているかを示すパネルや、企業としての歩みをまとめたヒストリーコーナーでも、各社が足並みを揃えてグループ一体での展示をなしていた。

建築設備のエリアでは、建物配管の省力化・簡易施工を実現する製品

PRした。バルブと高密度ポリエチレン管継手をあらかじめ一体化させた構造が特徴で、バルブソケットを問わずに、E/F（電気融着）接合で給水管路を構築できる。

「EスロハイパーAW用ゲートバルブ・ボールバルブ」を大きく

「エスロハイパーAW用ゲートバルブ・ボールバルブ」を大きく

E/F継手一体型のバルブ（上）と2社の水処理装置（下）



「EスロハイパーAW用ゲートバルブ・ボールバルブ」を大きく

「EスロハイパーAW用ゲートバルブ・ボールバルブ」を大きく

「EスロハイパーAW用ゲートバルブ・ボールバルブ」を大きく

「EスロハイパーAW用ゲートバルブ・ボールバルブ」を大きく

「EスロハイパーAW用ゲートバルブ・ボールバルブ」を大きく